

1. 樹木管理に関する現状課題

✓従前の単価契約では、計画的な管理ができていない。

→要望等による都度対応

✓毎年、受託業者が変わることでの課題。

①樹勢状況(年変化)の把握

②樹形の回復

③モチベーションの低下



枝葉のない樹木



花の咲かないツツジ

2. 複数年契約の概要

対象期間: R5年4月～R8年3月 (3か年)

対象路線: 第2空港線、電車通り

業務内容: ①樹木剪定(年1回)

②低木剪定(年1回)

③除草

④害虫消毒

【複数年契約のPoint】

ポイント1: 樹形の回復(3年かけて樹形を回復)

ポイント2: 年度初めの剪定(3月～4月末実施期間)

ポイント3: 統一樹形による景観向上

ポイント4: 地元意向・現場条件を把握した計画的剪定・除草

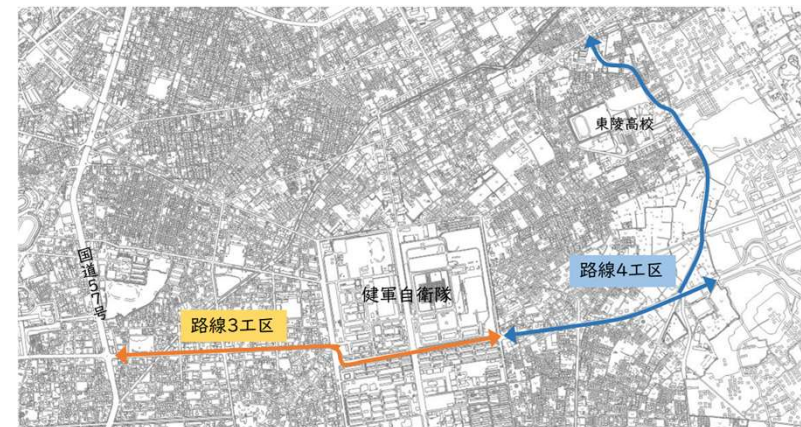
ポイント5: 受託業者の責任感・モチベーションUP

3. 対象路線図

①電車通り等



②第2空港線等



※その他(低木樹種試験)

【事業の目的】

①低木樹種の違いによる雑草抑制効果

②温水除草による雑草抑制効果

【実施箇所】

国体道路

【樹種】

低木、地被類10種類(シャリンバイ、フイリヤブラン等)

